



恋など

何も難しくはありません。

偶然に起こって

自然に終わるものです。

AI・HALL自主企画

〈北村想の座標 / 現在〉

# 「この恋や思いきるべきさくらんぼ」夏Ver.

作・演出  
北村想

出演  
蟻螂襲(PM/飛ぶ教室)  
片岡百萬両(ミジンコターボ)  
船戸香里

2012年  
9月21日(金)～23日(日)

**AI・HALL**

# 「この恋や思いきるべきさくらんぼ」夏Ver.

作・演出  
北村想

出演  
蟬螂襲(PM/飛ぶ教室)  
片岡百萬両(ミジンコターボ)  
船戸香里

スタッフ

舞台監督/河村都、舞台美術/西田聖、音楽/ノノヤママナコ、  
音響操作/今里愛、照明/葛西健一、衣装/福田尚子、  
宣伝美術/下東英夫、イラスト/あおきひろえ、  
写真/石川隆三、演出助手/高橋寛



2012年

9月21日(金) 19:00  
22日(土)14:00/19:00★  
23日(日)14:00

★22日(土)19時の回終演後、深津篤史さん(桃園会/劇作家・演出家)をゲストに迎え、シアタートークを開催します。  
※受付開始は開演60分前。開場は30分前。  
※未就学児童の入場はご遠慮ください。

料金【日時指定・整理番号付自由席】  
一般/前売=3,000円 当日=3,300円  
学生&ユース(25才以下)/前売=2,000円 当日=2,300円

チケット発売日/平成24年8月1日(水)

チケット取扱

◆アイホール(予約のみ)  
TEL:072-782-2000  
メール:info@aihall.com

◆Confetti(カンフェティ)  
WEB:http://confetti-web.com/  
http://cnfti.com/met5559/(携帯用)  
TEL:0120-240-540(平日10:00~18:00)

※ご予約後、お近くのセブン・イレブンでチケットを受け取れます(手数料210円)。  
※代金はチケット受け取りの際にセブン・イレブンでお支払いいただきます。  
※WEB予約の場合、ご予約前に観劇ポータルサイト「カンフェティ」への会員登録(無料)が必要となります。お電話でのご予約の場合は不要です。



会場・お問合せ

AI・HALL(伊丹市立演劇ホール) 〒664-0846 兵庫県伊丹市伊丹2-4-1

TEL:072-782-2000 メール:info@aihall.com  
URL:http://www.aihall.com twitter @ai\_hall



JR宝塚線(福知山線)「伊丹」駅下車西側すぐ  
阪急伊丹線(神戸線「塚口」駅より乗換)「伊丹」駅下車、東へ徒歩約7分

タイトルの『この恋や思いきるべきさくらんぼ』は川島雄三監督の俳句だが、もちろん、川島(作中で貸間という名前になっているのは川島監督の作品『貸間あり』からとられている)雄三は、そのとき、恋をしていたのに違いない。そうして誰しもが経験するように、その恋には逡巡(ためらい)があった。この場合の川島雄三のためらいは、恋する相手が人妻だとか、友人の恋人だとか、というふうな、なさぬ仲だったということではナイ。川島自身の背負っていた宿病(治りそうもなく、宿命のごとく罹患者を苦しめる業病)と、結婚生活などという、ごくふつうの庶民大衆の日常がおくれそうにナイ孤独な性格と、映画監督という明日も知れない不安定な職業からくるものだ。

川島は、その恋の行く末を夢想しながら目の前のさくらんぼをみつめている。あるいは、さくらんぼは彼の創作で、そこにさくらんぼが在ったかのように描いている。この場合のさくらんぼは、ひとつの象徴として季語になっている。枝が分かれて二つ、実をつけているからだ。川島は、あたかもそのさくらんぼに問いかけるようにしている。「べき」は、「思いきる」に対して、推量の「だろう」、意志としての「しよう」、可能「できる」、当然のこと、命令「せよ」の、何れにもとれる。その中で川島はゆれ動いているのだ。

私は、作品においてこの「さくらんぼ」にもうひとつ、意味づけをしてみた。それがこのドラマのドラマたるところになっている。「さくらんぼ」は、いわゆる「桜桃」だ。そこで、もうひとつ、「べき」の意味が加わってくるという趣向になっている。 北村想

企画製作/アイホール 主催/公益財団法人伊丹市文化振興財団・伊丹市  
初演:2004年2月 清流劇場(演出:田中孝弥)  
著作権認可番号© So kitamura 2012 No.15 小堀純事務所